



ビジネス  
自動化適応度  
テスト

## お客様のビジネスは、包括的でインテリジェントな 業務自動化ソリューションに適しているでしょうか？

ほとんどの業務は、戦略的な業務の自動化によって恩恵を受けることができます。しかし、自社の課題やビジネス目標の達成に最適なテクノロジーを選択することは簡単ではありません。

この適応度テストは、IBM の包括的な自動化ソフトウェア (自動化と AI 機能の適用を促進させるソリューション) がお客様のビジネスに適しているかを判断するのに役立ちます。

以下の表を使用して、ビジネス・ニーズに基づきお客様の準備状況を評価してください。現在実施中、または実施予定の各項目にチェックマーク(✓)を入れてください。各チェック・マークを1ポイントとして数えます。ポイントを計算したら、以下のガイドを使用してお客様の適応度を判断してください。

現在実施中、あるいは今後3年以内に実施する計画があるもの	ビジネスニーズ
<input type="checkbox"/>	コンテンツや文書を手作業で分類し、内容を把握する時間を削減する
<input type="checkbox"/>	様々な種類のドキュメント(構造化または非構造化のコンテンツ)から情報とデータを抽出する
<input type="checkbox"/>	ビジネス・ユーザーとIT部門間のコラボレーションし、ビジネスプロセスをモデル化する
<input type="checkbox"/>	ストレート・スルー・プロセッシング(人手を介さずに一連の作業をシームレスに行うこと)を増やす
<input type="checkbox"/>	機械学習とAIを使ってビジネスルールと意思決定モデルを改善する
<input type="checkbox"/>	複数のシステムやビジネス・アプリケーションへの対応を含め、手作業に費やす時間を最小限に抑える
<input type="checkbox"/>	現状のプロセスとタスクフローを正確に理解する
<input type="checkbox"/>	業務の非効率性とボトルネックを理解する
<input type="checkbox"/>	ボットを使用して反復タスクを自動化し、従業員の生産性を向上させる
<input type="checkbox"/>	データ・ドリブンな洞察に基づき、業務改善のため調整を行う
合計_____	

**合計 8～10:** **モジュール式で統合されたインテリジェントなビジネス自動化ソリューションに最適です。** あなたの組織は、包括的なIBMソリューションを構成する多くの機能を現在ご利用になっているか、あるいは将来的にご利用いただく可能性が高いです。

[IBM Cloud Pak® for Business Automation](#)について詳しく知る  
ビジネス・パフォーマンスを改善するためのモジュール、統合された完全なオートメーションのセットや AI のケイパビリティについて  
(英語)

**合計 5～7:** **適しています。** あなたの組織は、IBMの包括的ソリューション内の全ての自動化機能はまだ必要ないかもしれません。しかし、現在の目標を達成し、準備ができたときに拡張できる柔軟性や統合性があることは将来的な利点です。

これは以下の状況に適している可能性があります：

- 現在の自動化テクノロジー、特にビジネス・プロセス管理やコンテンツ管理など、数年前から導入されているテクノロジーを見直します。例えば、IT モダナイゼーション戦略の一環としてクラウド (SaaS) やコンテナに移行することを計画している場合に、特定のクラウド・プラットフォームの展開に必要なものはありますか？お客様の現在のベンダーは、ソフトウェアを最新版に移行させるための計画や戦略がありますか？
- ビジネス最適化のための技術開発目標とクライアント中心のイノベーションのバランスを評価します。目標に複数の機能の組み合わせが必要な場合、または、それらが短期的に変更される可能性がある場合は、包括的なソリューションを検討する価値があります。

上記検討について、詳細は[お問合せフォーム](#)よりご連絡下さい。

**合計 1～4:** **潜在的に適しています。** 当社のソリューションすべての機能は必要ないかもしれませんが、モジュール性、容易な実装、または業務を自動化するための実証済みの方法論を提供しているという点で、包括的なソリューションによる自動化の促進とソフトウェア機能を検討することはメリットがあります。

まずは小規模な自動化プロジェクトから開始するのがお勧めです。  
[IBM Cloud Pak for Business Automation](#) のサイトで、自動化とビジネス・パフォーマンスという目標を達成するのにどのように役立つかをご覧ください。

© Copyright IBM Corporation 2021  
IBM Corporation  
New Orchard Road  
Armonk, NY 10504

Produced in the United States of America  
January 2021

IBM、IBM ロゴ、IBM Cloud、IBM Cloud Pak、IBM Garage、IBM Services、IBM Z、および Power は、米国やその他の国における International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[ibm.com/trademark](http://ibm.com/trademark) をご覧ください。

The registered trademark Linux is used pursuant to a sublicense from the Linux Foundation, the exclusive licensee of Linus Torvalds, owner of the mark on a worldwide basis.

Microsoft は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。Red Hat、OpenShift は、Red Hat Inc. または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Vmware は、VMware, Inc. またはその子会社の米国およびその他の地域における登録商標または商標です。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

掲載または記述したすべてのお客様事例は、IBM 製品の活用方法とその結果を例として示したものです。実際の環境コストやパフォーマンス特性はそれぞれのお客様の構成や条件によって異なります。お客様のニーズに合ったソリューションに関しては、IBM へご相談ください。

IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

IT システム・セキュリティには、企業内外からの不正アクセスの防止、検出、および対応によって、システムや情報を保護することが求められます。不正アクセスにより、情報の改ざん、破壊もしくは悪用を招くおそれがあり、またはシステムの損傷や、他のシステムへの攻撃を含む悪用につながるおそれがあります。完全に安全と見なすことができる IT システムまたは IT 製品は存在せず、また単一の製品またはセキュリティ対策が、不正アクセスを防止する上で、完全に有効となることもありません。IBM のシステムおよび製品は、包括的なセキュリティの取り組みの一部となるように設計されており、これらには必ず追加の運用手順が伴います。また、最高の効果を得るために、他のシステム、製品、またはサービスを必要とする場合があります。IBM は、何者かの悪意のある行為または違法行為によって、システム、製品、またはサービスのいずれも影響を受けないこと、またはお客様の企業がそれらの行為によって影響を受けないことを保証するものではありません。

お客様は自己の責任で関連法規を遵守しなければならないものとします。IBM は法律上の助言を提供することはいたしませんし、また、IBM のサービスまたは製品が、お客様においていかなる法を遵守していることの裏付けとなることを表明し、保証するものでもありません。

